

た の

ね

楽

し

い

音

!

1都3県に緊急事態宣言が再発出されてから、ちょうど3週間が経ちました。音楽の授業では、鍵盤ハーモニカやリコーダー演奏等飛沫感染を予防するために制約が出ました。しかし、3学期初めの授業で子供達に話をしたところ、しっかりと約束等を守って授業に取り組んでいます。代替案（指づかいの確認だけをする事、音は絶対に出さずに練習すること、他の楽器で演奏練習すること等）についても納得をし、ハンカチを忘れずに持ってくる子供達が増えました。

立川市立大山小学校
音楽科通信 第22号
令和3年1月22日
音楽科 大野 智子

本日は、そのような制約の中でも、精一杯に取り組んでいる子供達の様子をお伝えします。



【6年生】

合奏曲に取り組んでいます。私がお休みしていた間に、担任の先生と一緒にリコーダー演奏の練習をし、検定まで挑戦していました。希望している楽器の練習に入った子、検定に備えてしっかり練習に取り組んでいる子、友達の頑張りに触発された子・・・一人一人が“自分なりの目標”を大切に、練習に励んでいます。

合奏として、全体で合わせるには、もう少し時間がかかりそうです。しかし、音やリズムを合わせていく中で、全員の気持ちも更に合うことを期待して、よりよい表現になれるよう指導していきます。

合奏の練習に時間を割かれ、なかなか合唱（歌唱）の練習ができませんが、声を出すことに抵抗を感じている児童もいるようなので、少しでも安心して歌えるように心掛けたいです。

情勢が不安定な中、変更が多くなることもありますが、発表できる日を楽しみにしています。

【5年生】

歌唱では“言葉をはっきり伝えよう”という目標設定をすると、歌い終わった後に、子供達から「サ行が・・・」や「八行が全部ダメだった。」等、自分の課題に気付いていました。今後の目標としては“初めてその曲を聴く人でも、しっかり歌詞が聴き取れること”と伝えると、さらに意欲的に取り組んでいました。

リコーダー演奏への制約があるため、全員でミニ合奏やクラッピング（手拍子や足踏みで音楽を表す手法の1つ）に取り組んでいます。クラッピングでは、2つのグループに分かれてリズムを重ねることができるようになりました。つまりしてしまうリズムパターンを何度も練習し、できるようになった時の達成感に溢れた表情は、本当に清々しいものです。

合唱・合奏ともに、さらに表現力を高めていけるように、声掛けをしていきます。

【4年生】

高学年同様、合奏に挑戦しようという提案をしました。41人で（当日は、欠席者もいましたが）1つの楽曲に取り組むには、楽器の数等、物理的な課題があることを理解した4年生。学級を2つのグループ（均等人数ではなく、希望制）に分けて取り組むことになりました。何事にも意欲的に取り組んでいるので“主体性”や“自主性”を大切にして、合奏を仕上げていきたいです。

合唱では、2つの違うパートを重ね合わせることの難しさ、できた時の満足感を知り、少しずつ「合わせること」を意識し始めています。

【3年生】

金管楽器について学習をしました。教科書には“トランペット”“ホルン”“トロンボーン”“チューバ”の4種類が掲載されていました。それらの楽器に初めて出会った児童が多かったようで、とても意欲的に学習に取り組んでくれました。重さや大きさ等の視覚的理解を含め、マウスピースやピストン等の用語への理解、演奏方法等についても理解を深めることができました。実際に触ってみたり、音を聴いてみたりして、より興味をもった児童が多くいました。

キラリの先生に、チューバを演奏できる先生がいて、今週末に演奏を依頼しています。より間近に音色を聴くことで、新しい発見もできることと思います。

【2年生】

“いろいろな楽器の音色で「小ぎつね」を演奏する”という目標を見た瞬間、子供達からたくさん楽器の名前が出てきました。木琴・鉄琴・キーボード・ピアノ等、メロディ（旋律）を奏でる楽器だけではなく、「伴奏みたいにしたい。」ということで、打楽器の名前もたくさん出てきました。トライアングル・ウッドブロック・すず・タンブリン（タンバリン）・カスタネット・クラベス・小太鼓等、授業で学習した楽器が全て出てきたことに、とても驚きました。

どうして必要かを訊いてみたり、希望を訊いてみたりすると、一人一人の考えや思いをしっかり言葉にして伝えようとする姿も見られました。演奏技術だけではなく、様々な場面で日々の成長を感じさせてくれる子供達です。

【1年生】

“歌詞に合う動作を考え、歌いながら動作を取り入れる”という目標の授業で「はる なつ あき ふゆ」という曲を歌いました。季節の言葉や擬音語に反応し、グループごとに考えを出し合い、歌いながら発表することができました。最後は、全グループの意見を全員で表現に結びました。

“曲に合う楽器の音色を考えて演奏する”という授業では「きらきらぼし」を演奏しました。「冬のイメージがあるから、すずやトライアングルを入れたい。」という子、「すずやトライアングルを入れるなら、鉄琴では演奏しない方がいいかも・・・」と悩む子。1年生ながら、音楽的な特徴によく気付き、発表する子供達が増えました。



それぞれの学年での頑張りを、ぜひご家庭でも、音や話で聴いてください。